

多様なテーマから即興的に表現しよう！

1 授業の基本的な構想

(1) 授業のねらい

本単元は、第1、2学年で「創作ダンス」「フォークダンス」「現代的なリズムのダンス」の三つの内容をそれぞれ取り上げ、特性に深く触れながらじっくり学習に取り組む計画例です。本事例では、創作ダンスを取り上げています。

「創作ダンスのねらい」

多様なテーマから表したいイメージをとらえ、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることをねらいとしています。

多様なテーマから、自分がイメージしたことを即興的に表現し、仲間とかかわって踊ることが大切です。動きを見せ合う発表の活動では、仲間の動きのよさを、お互いに認め合えることも大切です。

＜本事例で取り上げたテーマ＞

- ・テーマAの「身近な日常動作」から、生徒が動きをイメージしやすくダイナミックに表現できるものとして「スポーツいろいろ」を取りあげました。
- ・テーマEの「ものや道具を使った表現」では、質感を表現したり、そのものになりきって踊る楽しさに加え、「もの」を何かに見立てて表現する例示として初心者でも取り組みやすい「新聞紙」を取りあげました。

(2) 授業づくりの考え方

中学校で初めて行う創作ダンスの授業であることから、表現の基本をしっかりと身に付けてから自分たちで工夫して踊るという学習の進め方になっています。本事例では、単元を前半と後半に分けて授業を構成しています。単元の前半では、毎時間異なるテーマを取りあげ、ペアやグループを固定せず、多くの仲間とかかわって「ひと流れの動きに」して即興的に踊るように工夫しています。単元の後半では、既習のテーマから自分たちの好きなテーマを選択し、動きに変化を付けながら「ひとまとまりの動き」にして、発表会へとつなげるように設定しています。グルーピングは同じテーマを選択した仲間構成しています。

なお、仲間のよさを認め合い協力して取り組む「態度」や、ダンスの特性、由来などの「知識」、課題に応じた練習方法の工夫などの「思考・判断」に関してもバランスよく指導するようにしています。

＜単元の展開例＞

単元前半：多様なテーマを手がかりに、変化を付けたひと流れの動きで即興的に表現する

単元後半：表したいイメージを選んで、グループで変化と起伏のあるひとまとまりの動きにして踊る

テーマA

身近な生活や日常動作
「スポーツいろいろ」

テーマB

対極の動きの連続
「走る-跳ぶ-転がる」

テーマE

ものを使う
「新聞紙」

テーマC

多様な感じ
「鋭い・やわらかい感じ」

- ・テーマを選択
- ・テーマ別にグループを作る

・毎時間のテーマからイメージをふくらませて即興的に表現する

「はじめ-なか-おわり」を工夫して、ひとまとまりの動きにして踊る

- ・表したいイメージをとらえ、動きに変化を付けて踊る
- ・ペアやグループで見せ合う

⇒ 発表会

発表会が楽しみ

2 単元の目標

- (1) 創作ダンスでは、多様なテーマから表したいイメージをとらえ、動きに変化を付けてひと流れの動きで即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができるようにする。 (技能)
- (2) 創作ダンスに積極的に取り組むとともに、互いのよさを認め合おうとすること、健康・安全に気を配ることができるようにする。 (態度)
- (3) 創作ダンスの特性を理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 (知識・思考・判断)

3 単元の評価規準

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能	運動についての知識・理解
単元 の評価 規準	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。 ・よさを認め合おうとしている。 ・健康・安全に留意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の興味や関心に合ったテーマや踊りを設定している。 ・発表の場面で、仲間のよい動きや表現などを指摘している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創作ダンスでは、多様なテーマから表したいイメージをとらえ、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊るための動きができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの特性について、学習した具体例を挙げている。
学習 活動 に即した 評価 規準	<ul style="list-style-type: none"> ①創作ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。 ②仲間のよいアイデアや動きなどを認め合おうとしている。 ③活動場所や用具の扱い方に気を配っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①既習のテーマの中から、好きなテーマを設定している。 ②見せ合いや発表会で仲間のよい動きや表現などを指摘している。 	<ul style="list-style-type: none"> ①テーマにあったイメージをつかんで、動きを構成したり、動きを変化させたりしている。 ②表したいテーマの主要場面を中心にひとまとまりの動きで表現することができる。 ③はじめとおわりを工夫して、簡単な作品に仕上げていることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①創作ダンスの特性について学習した具体例を挙げている。



「スポーツいろいろ」決定的ゴール！大げさに表現する。大げさの3乗！！

4 指導と評価の計画(例)

多様なテーマから即興的に表現しよう！

学習の段階		多様なテーマを手がかりに、変化を付けたひと流れの動きで即興的に表現する				
毎時間の小テーマ		オリエンテーション ダンスの特性を知る	テーマA 身近な生活や日常動作 「スポーツいろいろ」	テーマB 対極の動きの連続 「走る-跳ぶ-転がる」	テーマE ものを使う 「新聞紙」	テーマC 多様な感じ 「鋭い・やわらかい感じ」
時 数		1	②	3	④	5
第一学年	0	1 創作ダンスの特性(楽しさ・魅力)を知る。	1 ウォーミングアップ(心と体をほぐす) 2 本時のテーマと課題の確認			
	10	2 ダンス映像などでイメージを膨らませる。 3 学習の見通しを持つ(確認)。	3 毎時間の小テーマから、イメージを膨らませて、思い浮かぶ特徴的な動きを即興的に表現する。 ・教師のリードで、小テーマから特徴的な動きを即興的に表現する			
	20		スピードの変化と緩急を生かした動きの誇張 ・大げさな動きで誇張して表現する。 ・一番表したいところを繰り返して踊る。 ・表情も付けて表現。	高さや落差を強調したメリハリのある動きの連続 ・対極の動きや極限の動きを組み合わせ、ダイナミックな動きで、即興的に踊る。	見立てて踊る ・新聞紙になりきってそのものの質感を表現する。 ・新聞紙を何かに見立ててイメージをふくらませて表現する。	変化のある動きの組み合わせ ・緩急、強弱の動きを組み合わせ、踊る。 ・鋭さ、柔らかさというそれぞれの特徴をイメージして表現する。
	30	4 準備運動の一部を行う。 次時のウォーミングアップにつながるように2人組でリズムに乗って動く。	4 表したいイメージをとらえ、動きに変化を付けて踊る。(複数人) (1) はじめとおわりを工夫する (2) 動きに変化を付けて、ひと流れの動きにして見せ合う(発表) ・題名の例「GOAL！」「嵐」「空飛ぶ○○！」「氷の世界」			
40	(動きの例) *弾んでスキップ *ツイスト *走ってジャンプ *ハイタッチ *回転、転がる	 落ちるときも音はしないよ 「新聞紙」				
50		5 ペアやグループでの見せ合い(発表)・学習のまとめ				
評価の観点	運動への関心・意欲・態度		③ (観察・学習カード)			② (観察・学習カード)
	運動についての思考・判断					
	運動の技能				① (観察)	
	運動についての知識・理解	① (学習カード・観察)				

※時数を○で囲んだものは「本時の目標と展開」を例示した。

創作ダンス 中学校第1学年（9時間）

表わしたいイメージを選んで、グループで変化と起伏のあるひとまとまりの動きにして踊る			
既習のテーマから、自分の好きなテーマを選択して踊る		発表会	
6 ~ 8		9	
1 ウォーミングアップ(心と体をほぐす) 2 本時のテーマと課題の確認			
3 既習のテーマの中から自分の好きなテーマを選択する。	3 自分が選択したテーマのイメージをとらえ、即興的な表現の動きに変化を付けて踊る。		
4 同じテーマを選んだ仲間とグループを作る(4~6人) ・イメージをふくらませて動く。	4 変化と起伏のある「はじめ—なか—おわり」のひとまとまりの動きにして表現する。 ・踊り込みをする。 ・動きを見せ合って発表する。お互いのよいところを認め合う。 ・題名の例「世紀の一瞬」「自然の猛威」「舞い散る木の葉」「雨上がりの虹」		
・動きに変化を付けて、一番伝えたい表現をさらにひと工夫する。 ・はじめ・おわり・クライマックスを工夫し、ひとまとまりの動きにする。		・互いに見せ合い発表する。	
			
5 互いのグループで見せ合い・発表会・学習のまとめ			
	② (観察・学習カード)		
① (学習カード・観察)			
		②③ (観察)	③ (観察)
		←————→	

5 本時の目標と展開

【第1学年創作ダンス テーマA 身近な生活や日常動作「スポーツいろいろ」 2/9時間】

(1) 本時の目標

- 日常生活の動作のイメージをふくらませ、動きを誇張し変化を付けてひと流れの動きにして即興的に表現できるようにする。 (技能)
- 創作ダンスの学習に積極的に取り組み、安全に気を配って活動することができるようにする。 (態度)
- 創作ダンスの特性を理解し、仲間のよい動きを指摘することができるようにする。 (知識、思考・判断)

(2) 展開 ※ 本時では、運動についての関心・意欲・態度を主として評価する。



	主なねらい・学習活動	教師の働きかけ・評価 (☆)
はじめ 10分	<p>(集合・挨拶・出席、見学の確認、健康観察)</p> <p>1 ウォーミングアップで体をほぐす。(前時で体験した踊りをペアで自由にリズムに乗って踊る)</p>	<p>(素早く集合し、元よく挨拶させる。)</p> <p>・楽しい雰囲気、リズムを感じながら弾んで踊るようにさせる。</p> 
なか 35分	<p>2 本時の学習内容と課題の確認。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> テーマ「スポーツいろいろ」 テーマにあった動きのイメージをふくらませ、動きを誇張し、変化を付けて踊ろう </div> <p>3 2人組でのいろいろなスポーツの場面や様子を、誇張して即興的に表現する。 (ボクシングでパンチを受ける→とばされる→立ち上がってパンチする→やられる) 自分の好きなスポーツを、ペアでやってみる。</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 表情(顔)も誇張するとリアルに見えるよ </div> <p>4 新しいペアで、さらに動きを工夫して誇張したり繰り返したりしながらひと流れの動きにして踊る。 ・オリンピックなどスポーツや戦いの名場面を2人組で思いつくままに誇張して表現する。 ・表したい種目や場面を選んで全身で表現する。 *予想されるシーンや動きの例 ① サッカーのシュートのシーン ② 卓球のスマッシュが決まったシーン ③ バレーボールのレシーブ・トス・アタック ④ 水泳のターンのシーン ⑤ マラソンのゴール前の競り合いシーン</p> <p>5 近くのペアと「世紀の一瞬」などタイトルをつけてひと流れの動きを見せ合い、感想を言う。</p>	<p>・学習のイメージが膨らむように、例を示しながら説明をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 見ている相手に伝わるように、大きさにやろう！ </div> <p>・ボクシングの動きで一番面白いところをひと流れの動きで表現させる。 ・一つ一つの動きを誇張するために、スローモーションを入れたりして大きさに動くように声掛けをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 強調する時は、気に入った動きを2~3回繰り返す！ </div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 見えない汗やボールが見えるようなイメージで動こう。視線もポイント！ </div> <p>・動きを誇張するには「表情・スピード・ストップ」などメリハリが重要であることを理解させる。 ・一つの動きを繰り返すことで、表現したいシーンをアピールできることを理解させる。 ・空間やリズム、体の使い方を工夫するように助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ☆活動場所や用具の扱い方に気を配っている。 【関心・意欲・態度③】 (観察) </div>
まとめ 5分	<p>6 本時の学習の振り返り・まとめ</p> <p>・感想発表、学習カード記入 ・挨拶</p>	<p>・成果を認め合い、次時への意欲化を図る。 ・健康状態を把握する。 ・元よく挨拶する。</p>

【第1学年創作ダンス テーマE ものを扱う「新聞紙」 4/9時間】

(1) 本時の目標

- 新聞紙の多様な質感を動きで表現したり、何かに見立てイメージをとらえてひと流れの動きにして即興的に表現できるようにする。 (技能)
- 創作ダンスの学習に積極的に取り組むことができるようにする。 (態度)
- 創作ダンスの特性を理解し、仲間のよい動きを指摘することができるようにする。 (知識・思考・判断)

(2) 展開 ※ 本時では、運動の技能を主として評価する。

	主なねらい・学習活動	教師の働きかけ・評価 (☆)
はじめ 10分	<p>(集合・挨拶・出席、見学の確認、健康観察)</p> <p>1 ウォーミングアップで心と体をほぐす。 (ペアで自由にリズムに乗って踊る)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・素早く集合し、元気よく挨拶させる。 ・楽しく、リズムを感じながら弾んで踊るようにさせる。 <p style="text-align: center;">相手の目を見て弾んで踊ろう</p>
なか 35分	<p>2 本時の学習内容・課題を確認する。</p> <p>新聞紙の多様な質感を動きで表現したり、何かに見立ててイメージをふくらませて表現しよう。</p> <p>3 新聞紙の多様な質感を表すように、教師のリードで新聞紙の通りに動く。</p> <p>①柔らかく軽い感じ ②力の加わる一瞬 ③形が変わる様子</p> <p>・2人組を作り新聞紙を用意する。扱う人と新聞紙になる人を決めて、自分たちで新聞紙を自由に使い即興的にひと流れの動きで動く。</p> <div style="text-align: center;">  <p>ギリギリの動きもできるよ</p> </div> <p>4 新聞紙を何かに見立てて、イメージしたことをひと流れの動きに工夫する。(4人組・1人が3人を操ってさらに動きを工夫する)</p> <p><予想される生徒の題名の例></p> <ul style="list-style-type: none"> *空を飛ぶ○○ *グシャグシャになった私 *迫る壁、重圧 *木の葉が風にのってフワフワ飛んでいる・・・そこへ突風が・・・木の葉は激しく飛ばされ、粉々に。 <p>5 2班に分けて、動きを見せ合い感想を言う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙にはなれないけれど、なろうとすることに楽しさや表現の誇張につながることを理解させる。 <p style="text-align: center;">新聞紙の質感、ふんわり軽い感じをひと流れの動きで表現してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発想を豊かに、なりきって動くように言葉かけをする。 ・空間を生かしたり、体の使い方を工夫するように助言する。 ・実際にはできなくてもそのように見える動きを考えさせる。 ・新聞紙を直視しないで、視界に入れながら全身で動くように助言する。 <ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙を手だけで操るのではなく、扱う人もなりきって全身で動くように声をかける。 ・どんな動きができるかを試させる。「飛ばす、折る、広げる、貼る、丸める」などの動きを「フワッ、シュワッ、クシャクシャ、ピーン」など、声を出しながら動かすのもよい。 <p style="text-align: center;">遠くに飛ばされる～。 バラバラになっちゃうよー。</p> <div style="text-align: center;">  <p>全身で動くと楽しい!!</p> </div> <p style="text-align: center;">☆テーマにあったイメージをつかんで、動きを構成したり、動きを変化させたりしている。 【技能①】 (観察)</p>
まとめ 5分	<p>6 本時の学習の振り返り・まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想発表、学習カード記入 ・挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を認め合い、次時への意欲化を図る。 ・健康状態を把握する。 ・元気よく挨拶する。

中学校第1学年 「フォークダンス」

伝承されてきた踊りの特徴をとらえて踊ろう

1 授業の基本的な構想

(1) 授業のねらい

第1・2学年の必修の時期に、どのようなダンスを履修させるかが第3学年からの選択に取組む学習に大きな影響を与えます。そこで、この時期は三つの内容「創作ダンス」「フォークダンス」「現代的なリズムのダンス」をバランスよく体験して特性や魅力に触れさせることが考えられます。

本事例は、第1学年で「フォークダンス」を取り上げ、その特性や魅力に深く触れながらじっくり学習に取り組む例です。

ここで学ぶフォークダンスには、伝承されてきた日本の「民踊」や外国の「フォークダンス」があり、それぞれの踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ることができるようにすることをねらいとし、みんなで踊って交流して楽しむことができるようにすることが大切です。

<第1・2学年で学ぶ曲目の例>

- 日本の民踊
 - 花笠音頭（山形）
 - 春駒（岐阜）
 - 炭坑節（福岡）
 - 鹿児島おはら節（鹿児島）など
- 外国のフォークダンス
 - オクラホマ・ミクサー（アメリカ）
 - バージニア・リール（アメリカ）
 - ドードレブスカ・ポルカ（旧チェコスロバキア）など

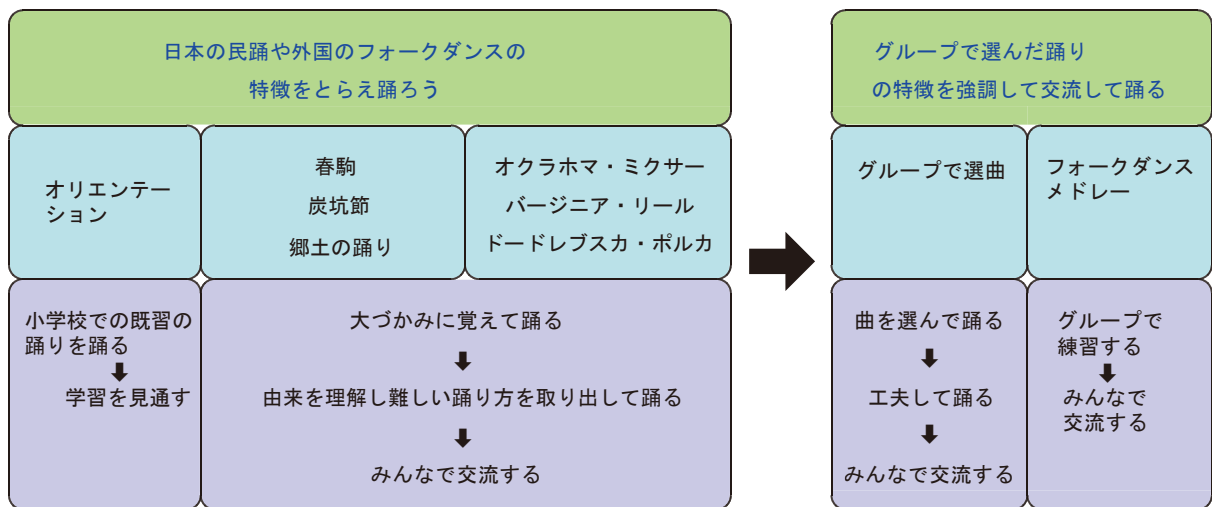


(2) 授業づくりの考え方

中学校で初めて行うフォークダンス授業であることから、オリエンテーションに小学校での既習の踊りを踊る時間を設定したり、単元前半には思春期の特徴に配慮して手をつながないでできる日本の民踊を取り入れる等の工夫をしています。また、技能に示されている「踊りの特徴をとらえる」について、[踊りと動きの例示]に示されている代表的な踊りの他に、地域に伝承されてきた民踊も取り上げ（本事例では「秋田音頭」）、それぞれの特徴をとらえて踊ることができるように設定しています。

なお、「技能」はもちろんのこと、仲間のよさを認め合う公正や協力に関する「態度」、フォークダンスの特性・踊りの由来などの「知識」、運動実践につながる態度に関する「思考・判断」の学習場面を設定し、内容をバランスのよく指導するように配慮しています。

<単元の展開例>



2 単元の目標

- (1) フォークダンスでは、取り上げた踊りの特徴をとらえ、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ることができるようにする。 (技能)
- (2) フォークダンスに積極的に取り組むとともに、互いのよさを認め合おうとすることや、健康・安全に気を配ることができるようにする。 (態度)
- (3) フォークダンスの特性、踊りの由来と表現の仕方を理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 (知識、思考・判断)

3 単元の評価規準

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能	運動についての知識・理解
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。 ・よさを認め合おうとしている。 ・健康・安全に留意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の場面で、仲間のよい動きや表現などを指摘している。 ・学習した安全上の留意点を仲間と学習する場面に当てはめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォークダンスでは、踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの特性について、学習した具体例を挙げている。 ・踊りの由来について、学習した具体例を挙げている。
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ①感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージをとらえた表現や踊りを通して交流することに積極的に取り組もうとする。 ②互いの個性や表現を認め合って、だれとでも踊りに楽しく取り組もうとする。 ③体調の変化などに気を配ったり、用具や練習場所などの自己や仲間の安全に留意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ①発表や練習の場面で、仲間のよい動きや表現などを指摘している。 ②学習した安全上の留意点を仲間と学習する場面に当てはめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①踊り方を大づかみに覚えて踊ることができる。 ②難しいステップや動き方を取り出して、踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ダンスの特性について、発表したり、学習カードに書き出ししたりして学習した具体例を挙げている。 ②踊りの由来について、学習カードに書き出し学習した具体例を挙げている。






秋田音頭



オクラホマ・ミクスサー

4 指導と評価の計画（例）

伝承されてきた踊りの特徴をとらえて踊ろう

学習の段階		日本の民踊や外国のフォークダンスの		
毎時間の小テーマ		オリエンテーション	春駒・炭坑節	郷土の踊り(秋田音頭)
時数		1	2	③
第一学年	0	1 ウォーミングアップ 2 本時のねらいと学習内容の確認		
	10	3 小学校での既習の踊りを踊る。 ①ジェンカ ②マイムマイム ③阿波踊り など ・健康や安全に気を配って取り組む。	3 新しい踊りを大づかみに覚えて踊る。 ・馬に乗って走る様子 ・労働の作業動作 	・7-7-9を基本リズムとしたお国自慢の歌詞 
	20	4 学習を見通す。 ・ダンスの特性や楽しみ方を理解する。 ・学習カードや資料の使い方を理解する。 ・グループ編成する。 ・役割分担する。	4 踊りの由来を理解し難しい踊り方を取り出して踊る。 ・軽快で躍動的な動き ・掘ったり、かついだり、トロッコを押すような体の使い方 	・グループ内の練習の場面で、ナンバの動き、片足で止まるポーズ、小道具のカサの操作の動きなど、仲間のよい動きを指摘
	30		5 みんなで楽しく踊って交流する。	
40	5 本時の振り返り、次時の確認	6 本時の振り返り、次時の確認		
50				
評価の観点	運動への関心・意欲・態度	③ (観察・学習カード)		
	運動についての思考・判断			① (学習カード・観察)
	運動の技能			
	運動についての知識・理解	① (学習カード・発言)	② (学習カード)	

※時数を○で囲んだものは「本時の目標と展開」を例示した。

フォークダンス 中学校第1学年（7時間）

特徴をとらえて踊ろう		グループで選んだ踊りの特徴を強調して練習し交流しよう	
オクラホマ・ミクサー、 バージニア・リール	ドードレブスカ・ポルカ	グループで選曲	フォークダンスメドレー
4	5	6	7
1 ウォーミングアップ 2 本時のねらいと学習内容の確認			
3 新しい踊りを大づかみに覚えて踊る。 ・パートナーチェンジのある踊り・隊形が変化する踊り 		3 これまで学習した踊りの中からグループごとに曲目を選択して踊る。 ・大づかみに踊って復習し、難しい踊り方を取り出して踊る。	
4 由来を理解し難しい踊り方を取り出して踊る。 ・軽快なステップで相手に合わせた踊り ・滑らかなパートナーチェンジをする踊り ・列の先頭のカップルに合わせた踊り 		4 選んだ踊りの特徴がより生きるように工夫し、動きのよさを認めあって踊る。 ・仲間や他のグループの動きのよさに声をかけるなど、互いに認め合って学習する。	
5 みんなで楽しく踊って交流する。		3 グループで練習する。 ・日本の民謡を踊る。 ・外国のフォークダンスを踊る。	
4 みんなで交流する。 ・視聴覚機器の設置場所など、安全上の留意点を確認し、みんなで楽しく踊り交流する。			
	① (観察・学習カード)	② (観察・学習カード)	
			② (学習カード・観察)
①② (観察)			①② (観察)
② (学習カード)			


5 本時の目標と展開

【第1学年フォークダンス 郷土の踊り（秋田音頭） 3／7時間】

(1) 本時の目標

- 郷土の踊り（秋田音頭）の踊りの特徴をとらえ、基本となる踊り方を身に付けて踊ることができるようにする。(技能)
- 郷土の踊り（秋田音頭）の練習に積極的に取り組むことができるようにする。(態度)
- 郷土の踊り（秋田音頭）の由来を理解し、練習場面で仲間のよい動きを指摘できるようにする。(知識、思考・判断)

(2) 展開 ※ 本時では、運動についての思考・判断を主として評価する。

	主なねらい・学習活動	教師の働きかけ・評価（☆）
はじめ 10分	<p>(挨拶、健康観察)</p> <p>1 ウォーミングアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時で取り上げた「春駒」「炭坑節」を踊る 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーを中心に協力するよう助言する。 ・体ほぐしの運動のねらいを踏まえながら、心と体を解放できるように言葉かけをする。
なか 35分	<p>2 本時のねらいと学習内容の確認</p> <p style="background-color: #fce4d6; padding: 5px;">郷土の踊り「秋田音頭」の由来を理解し、難しい踊り方を取り出して踊り、仲間のよい動きを指摘し合おう。</p> <p>3 郷土の踊り（秋田音頭）を大づかみに覚えて踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・踊り方を大づかみに覚えて踊る。 <p>4 踊りの由来を理解し、難しい踊り方を取り出して踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでの練習の場面で、踊り方の特徴について、仲間のよい動きを指摘し合う。 <div style="background-color: #e0f2f1; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・出だしの「ヤートナー」と区切りの「ハイ、キタカサッサー、ヨイサッサ、ヨイナー」の掛け声や歌詞を歌いながら、右左とナンバの動きで手と足を動かす</p> </div> <div style="background-color: #e0f2f1; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・明治時代初め頃に名前が付いて歌い継がれている</p> <p>・7-7-9を基本リズムとしたお国自慢の歌詞が有名</p> </div> <div style="background-color: #e0f2f1; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><指摘のポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・区切りの掛け声「ハイ、キタカサッサー、ヨイサッサ、ヨイナー」のタイミング ・ナンバの動き ・片足で止まるポーズ ・小道具のカサの操作の動き 等 </div> <p>5 みんなで楽しく踊って交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田の風土や風習、歴史などが分かる資料を用いながら説明し、踊りの意味を伝える。 ・写真やVTRなどを活用し、特徴のある掛け声や止まるポーズなど、踊りのイメージを持たせる。 ・少しずつ分けて繰り返したり、歌詞を歌いながら踊ったりなど、工夫する。 ・掛け声を合わせるによりメリハリのある踊りになるよう言葉かけをする。 ・話し合いの場をつくり、気が付いたことを指摘し合えるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>☆発表や練習の場面で仲間のよい動きを指摘している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナンバの動き ・片足で止まるポーズ 等 <p>【思考・判断①】（学習カード・観察）</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div>
まとめ 5分	<p>6 本時の学習の振り返り、まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の授業記録をまとめる。 ・学習の成果や課題などを発表する。 ・教師の評価を聞く。 	<p>☆学習カードから評価材料を得る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいの反省と評価項目の内容を学習カードに記入させ、生徒個人の取組を判断する際の手がかりとする。 <p><質問の例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間のよい動きを指摘しましたか？ ・どのような指摘をしましたか？



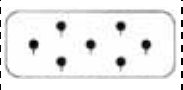
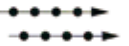






《参考資料》フォークダンスの学習カードの例

1年組 番氏名

No	観点	時間	自己評価の項目 ※学習のふり返りをしっかりしましょう	自己評価	
				本時	最終
1	関・意・態	1	健康・安全に留意して取り組んでいたか。	A B C	A B C
2		5	外国のフォークダンスの学習に積極的に取り組んでいたか。	A B C	A B C
3		6	練習の場面で互いに認め合って学習したか。	A B C	A B C
4	思・判	3	練習の場面で、仲間のよい動きについて指摘していたか。	A B C	A B C
5		7	安全上の留意点について、学習したことを生かしていたか。	A B C	A B C
6	技	4	軽快で跳躍的な動きで踊ることができたか。【春駒】	A B C	A B C
7		7	掘ったり、かついだり、トロッコを押すような体の使い方と動きで踊ることができたか。【炭坑節】	A B C	A B C
8		4	軽快なステップで相手と合わせて踊り、滑らかなステップやターンをして踊ることができたか。【オクラホマ・ミクサー】	A B C	A B C
9		7	列の先頭のカップルに動きを合わせて踊ることができたか。【バージニア・リール】	A B C	A B C
10	能	7	滑らかなステップやターンをして踊ることができたか。【ドードレブスカ・ポルカ】	A B C	A B C
11		1	フォークダンスの特性について、言ったり書き出したりしているか。	A B C	A B C
12	知識・理解	2	日本の民謡の由来や表現の仕方について、言ったり書き出したりしているか。	A B C	A B C
13		4	外国のフォークダンスの由来や表現の仕方について、言ったり書き出したりしているか。	A B C	A B C

◆感想

第1・2学年で取りあげるフォークダンスの特徴（例）

日本の民踊	特徴	外国のフォークダンス
<ul style="list-style-type: none"> ●着物の袖口から出ている手の動き ●裾さばきなどの足の動き ●低く踏みしめるような足どり ●腰の動き ●ナバの動き（左右同側の手足を同時に前に振り出す動作） 	動き	<ul style="list-style-type: none"> ●グランド・チェーンなどのパートナー・チェンジ 
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 輪踊り  </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 正面踊り  </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 流し踊り  </div> </div>	隊形	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> シングル・サークル  </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ダブル・サークル  </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> オープン・サークル  </div> </div>
<ul style="list-style-type: none"> ●男踊り ●女踊り ●歌や掛け声を伴った踊り 	その他	<ul style="list-style-type: none"> ●ステップ（軽快なスキップ、ポルカステップ） ●組み方 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> オープン  </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> クローズド  </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> プロムナード  </div> </div>